

シンポジウム「放送の公共性問題を考える：NHKの「改革」を焦点に」
の開催について

1. 主 催 日本学術会議 社会学委員会メディア・文化研究分科会
2. 日 時 平成20年3月17日（月） 13：00～17：00
3. 場 所 日本学術会議 5-A(1)(2)会議室 5階

4. 次 第

開催趣旨

インターネットの急速な普及に見られるようにメディア環境は大きく変化している。また、こうした環境の変化を背景にして、通信・放送制度の見直しが議論され、放送法の改正も議論されている。こうした中で、この間、さまざまな課題に直面することとなったNHKの「改革」が進められている。

こうした状況のもとで、放送の公共性をどう考えるか、特にNHKの公共性をいかに発展させるかについて議論することは、社会と学術の双方にまたがるきわめて重要な課題と言える。本シンポジウムは、研究者、ジャーナリスト、ドキュメンタリー番組の制作者などに登壇していただき、多様な視点からこの問題を論議する。

開会あいさつ：吉見俊哉（東京大学大学院情報学環情報学府長、日本学術会議連携会員）

I 講演（13：10～14：50）

- 1)伊藤 守（早稲田大学教育・総合科学学術院教授、日本学術会議連携会員）
- 2)遠藤 薫（学習院大学法学部教授、日本学術会議連携会員）
- 3)音 好宏（上智大学文学部教授）
- 4)原 寿雄（ジャーナリスト）
- 5)桜井 均（NHK放送文化研究所主任研究員）

II 討論など（15：15～16：45）

閉会のあいさつ：田嶋淳子（法政大学社会学部教授、日本学術会議連携会員）

事前申し込みは必要ありません。

問い合わせ先

早稲田大学教育・総合科学学術院 伊藤守研究室 電話 03-5286-1868
E-mail mamorui@waseda.jp